

認知症初期集中支援チーム

平成28年10月から、認知症の早期発見・早期対応の支援として認知症初期集中支援チームを設置しています。



対象：40歳以上で認知症の疑いがあり、医療や介護のサービスを受けていない方

内容：地域の医師と医療・介護の専門職がチーム（認知症初期集中支援チーム）となって御相談に対応し、医療や介護サービスにつなげる支援を実施

地域の方で、認知症の疑いがあり、医療や介護サービスを受けていない場合は、**地域包括支援センターに御相談ください。**

認知症初期集中支援チームによる支援人数

年代	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
60歳代				2	2
70歳代	3	2		2	7
80歳代	3	4	3		10
90歳代	1	1			2
合計	7	7	3	4	21

支援対象者は女性が多い(76.2%)
相談ルートは家族が多い (61.9%)



認知症初期集中支援チームの支援の結果 (平成28年度～令和元年度)

医療又は介護サービス開始 13人(61.9%)

医療・介護サービス 未 8人(38.1%)

(その後は、地域包括支援センターの総合相談で対応)



本人や家族が希望しないため、医療・介護サービス利用に至らないことが多いです